憲法の三権分立が危ない

安倍内閣に近いとされる東京高検検事長の黒川弘務氏は２月に定年を迎えるはずだったがこれを閣議決定で延長した。この夏に退官予定の稲田信夫検事総長の後任にするためとか…。検察官は国公法定年延長の適用外（１９８１年）となっている。かってロッキード事件（吉永祐介検事総長）の時は政財界のトップにまで捜査、逮捕が及んだ。

検察官は起訴、不起訴の決定をはじめ強大な権限を持つ。安倍首相は「桜を見る会」等の「公職選挙法」「政治資金規正法」違反で市民団体から刑事告発されているが、これをにらんでのことでは？といわれる。

検察官には裁判所と並んで独立した強大な権限が与えられている。それを政府が自分たちに都合の良いように勝手に解釈を変えることは許されない。これでは権力さえあれば法律も無視して何でもできてしまうということになる。改正が必要なら検察庁法の改正案を国会に提出して審議するのが順序である。

国民には消費税増税等で負担を強いて首相の税金私物化疑惑にも納得のいくよう明らかにしない。その上、憲法の基本である三権分立も守ろうとしないのは、国の代表として失格としか思えない。

（井深）百合子）

3. 11　フクシマ 10 年目を迎える
住民ゼロの町双葉町を聖火リレー

東京オリンピック聖火リレーは住民 156 人の大熊駅から双葉駅へ, 住民ゼロの双葉町を 500m走る。

帰還困難地区は解除されたが、住民ゼロの双葉町をあたかも復旧したかのように見せかけるコース。この様に「住民のいない町」での聖火リレーは問題。

新型コロナウイルス予算はゼロ
2. 28. 予算案衆議院通過

2020 年度予算は 28 日衆議院で可決参院へ。

当初予算案の総額は 102 兆 6580 億円。

ただ「新型コロナウイルス」対策費ゼロは問題。

（韓国新型ウイルス対策の補正予算は 1 兆円で、米国は 9000 億円である。）

野党側は後半戦で、新型コロナウイルス問題に、対策費用を予算案に組み替えるよう主張した。

本会議でも「新型コロナウイルス対策ゼロの予算案は理解することが出来ない」と反対演説した。

日本では従来から当初予算案を野党の要求に応えて組み替えた実績は皆無であり、今後はこの点を改善すべきだと痛感した。

当初予算の組み換えは各地方自治体でも殆どなされることが無い現状で課題である。　（井口）

カンパ
今月は
グッズ売上げ分
3500 円
ありがとう
ございました。

署名
今月　15 筆
（累計）
1327 筆

今後の予定

＊3 月 19 日（木）　もう黙っとれんアピール
１７：００～１７：４５名鉄岐阜駅十六ＢＫ本店前
＊3 月 23 日（月）長良 9 条の会　行動日
１６：００～１６：３０ サンマート
＊3 月 29 日（日）　岐阜九条の会　街宣・署名
１７：００～１７：３０　名鉄岐阜駅交差点

つぶやき

七月三日に起きた東長良中三年男子のマンション転落事故はいじめによる自殺と認定された。

あれから八か月、第三者委員会、公教育検討委員会などで話し合われていましたが、結果何がわかったというのだろう。肝心要の部分は黒塗りの報告書だ。個人情報という投網にかけられている。

地域住民である私たちにできることは何かあるのだろうか。何とかしなくては、というはやった気持ちに襲われている人は多々あるにちがいない。しかし、ここまできたらあせらず怠けずみんなで考えて続けていくしかない。戦後七十有余年の歴史をたどると浮かび上がることも多くある。ある人は、軍隊の名残りとか、あるいは経済重視の世の中が教育界に及ぼした影響だとか。

一人二人が訴えて、どうとかできる問題ではないし、地域全体、いえ、日本全体で考える時がきていると言っても過言ではないと思う。

（平塚）